

平成 26 年 4 月 17 日

各 位

上 場 会 社 名 : 株式会社インタートレード  
代 表 者 名 : 代表取締役社長 尾崎 孝博  
(コード番号: 3747 東証マザーズ)  
本 社 所 在 地 : 東京都中央区新川一丁目 17 番 21 号  
問 い 合 わ せ : 取締役 丸山 與一  
電 話 番 号 : 03-4540-3002  
U R L : <http://www.itrade.co.jp/>

## 片倉チッカリン株式会社との業務提携のお知らせ

株式会社インタートレード（以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、当社ヘルスケア事業の成長を目的として片倉チッカリン株式会社（以下「片倉チッカリン」）と業務提携契約を締結することを決議しましたのでお知らせいたします。

### 1. 業務提携の目的

#### (1) 当社ヘルスケア事業について

当社グループは平成 24 年 8 月よりヘルスケア事業を開始しており、当社及び以下 3 社の連結子会社にて当該事業を運営しています。

株式会社らぼおぐ : 機能性キノコ「ハナビラタケ」の生産及び関連製品の開発

株式会社健康プラザパル : 健康食品及び化粧品等のカタログ販売、通信販売サイト「健康いもの Online」の運営

株式会社ビューティールカン : ビューティールカンブランド商品のマーケティング及び通信販売サイト「ジーコレクション」の運営

平成 25 年 9 月期のセグメント売上高は 97 百万円、セグメント損失は 186 百万円であり、事業を安定成長段階に進めることを目指しています。

#### (2) 片倉チッカリンについて

大正 9 年設立の東京証券取引所一部上場企業であり、肥料事業、飼料事業等の農業に対する支援業務を行い、食物の安全性と品質の確保に貢献しています。

### (3) 両社の役割と期待する効果

当社グループは、株式会社らぼおぐにおいて生産したハナビラタケをヘルスケア事業の成長のキーと位置付け、 $\beta$ -1,3 グルカンを含むハナビラタケを原材料とする「ビューティーグルカン」ブランドの展開を推進しています。

片倉チッカリンは、業況拡大のため化粧品の製造販売を行うライフスタイル本部を設け、アジアを中心に海外マーケットへのアプローチも行っています。

当社グループのビューティーグルカンブランド製品と、片倉チッカリンの市場開拓力を融合させ、アジア及びヨーロッパの化粧品市場及びヘルスケア市場に本格進出することを目指します。

## 2. 業務提携の内容

アジアやヨーロッパの化粧品市場及びヘルスケア市場は巨大であり、中国の化粧品市場に限ってもその規模は2兆円を超えると見られます。中国において日本製品は高品質との認識が定着しており、特色がある化粧品は市場から評価される可能性がおおいにあると思われます。

平成25年中に当社は、 $\beta$ -1,3 グルカンを含む当社の「インタートレード・ビューティーグルカン・パウダー※1 (INCI 名※2 : Beta-Glucan)」を基原料とする化粧品原料の製造を行い、シワや保湿に関する機能性試験において良好な結果を得ました。

この結果を受けて当社と片倉チッカリンは、当社の生産力及び商品開発力と、片倉チッカリンの市場調査力及び海外販売力を融合させ、中国をはじめとするアジア、ヨーロッパ市場に進出することで合意しました。

具体的提携の第一弾として、片倉チッカリンは当社の「インタートレード・ビューティーグルカン・パウダー」を、日本を除くアジア及びヨーロッパ市場全域向けに独占供給を受ける予定です。片倉チッカリンは、 $\beta$ -1,3 グルカンを含む化粧品原料「ビューティーグルカンパウダー」を優先的に確保し、これを海外にて販売します。一方当社は、片倉チッカリンを通して海外の化粧品市場にアクセスすることになり、ヘルスケア事業における売上の拡大をはかります。

#### ※1：インタートレード・ビューティーグルカン・パウダー

ハナビラタケを基原料とする化粧品原料等の素材です。ハナビラタケなどキノコ類を基原料とする化粧品原料開発での課題は、細胞壁を構成する $\beta$ グルカン（ベータグルカン、多糖体）のほとんどが非水溶性（水に溶けない）のため、酵素処理を行い、 $\beta$ グルカンを低分子に分解して水溶性にすることが一般的です。ハナビラタケにおいても $\beta$ グルカンを分解するには酵素処理が効果的ですが、酵素はタンパク質で非分解性のため、酵素がアレルギーとなる懸念があるため、肌に塗る化粧品原料として望ましくありません。さらには、分解するために用いる酵素は動物性のものがほとんどで、動物愛護の観点から欧州では懸念され、さらに豚由来酵素の場合ではハラール認証が取れずイスラム圏で利用できません。こうした背景から、当社原料は製造工程に一切の酵素処理を行っておりません。原料の洗浄においても、石油系メタノールなどの有機溶剤はヒトの体に好ましくないため一切使用していません。

そして、ハナビラタケが元来持っているタンパク質も製造過程で完全に分解処理しているため、アレルギーとなる成分を一切含まないことが最大の特徴です。化粧品原料として使用するインタートレード・ビューティーグルカン・パウダーは経口摂取しても安全な素材で、エコ、オーガニックを意識した、体に優しい理想的な新素材と言えます。今後は、化粧品原料以外への応用についても研究を進めていく予定です。

#### ※2：INCI 名

「INCI 名」とは INCI (International Nomenclature of Cosmetic Ingredients) の命名法ルールに基づいた成分名で、CTFA (Cosmetic Toiletry and Fragrance Association。現 PCPC -Personal Care Products Council) が公表している化粧品成分の国際的表示名称のことです。

### 3. 提携先の概要

(1) 商号	片倉チッカリン株式会社		
(2) 本店所在地	東京都千代田区九段北一丁目 13 番 5 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 西見 徹		
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥料事業</li> <li>・ 飼料事業</li> <li>・ 不動産事業</li> </ul>		
(5) 資本金	3,549 百万円		
(6) 設立年月日	大正 9 年 3 月 14 日		
(7) 大株主及び持ち株比率	丸紅株式会社 25.00% 農林中央金庫 4.40% 株式会社みずほ銀行 4.32% 三菱商事株式会社 4.06% 株式会社りそな銀行 3.15%		
(8) 当社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態	(単位：百万円)		
決 算 期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
連 結 純 資 産	10,679	10,892	11,259
連 結 総 資 産	21,594	20,499	21,096
連 結 売 上 高	19,966	19,938	20,389
連 結 営 業 利 益	303	775	646
連 結 経 常 利 益	326	834	675
連 結 当 期 純 利 益	△513	184	424

#### 4. 日程

平成 26 年 4 月 17 日 当社取締役会決議

なお、業務提携契約締結日については現在調整中です。

#### 5. 今後の業績に与える影響

本件の収益への寄与は平成 27 年 9 月期以降となる見込みであり、影響額については現在精査中です。公表している平成 26 年 9 月期の業績予想の修正はありません。

以 上